

# 数学 A 第 1 章 場合の数と確率

## 第 1 節 場合の数

1 限目	P 1 2 ~ P 1 5	集合の要素の個数
2 限目	P 1 6 ~ P 1 9	場合の数 (1)
3 限目	P 2 0 ~ P 2 3	場合の数 (2) 順列
4 限目	P 2 4 ~ P 2 7	順列・円順列・重複順列
5 限目	P 2 8 ~ P 3 1	組合せ
6 限目	P 3 2 ~ P 3 4	組分け・同じものを含む順列
7 限目	P 3 5 ~ P 3 6	重複を許す組合せ. 補充問題
8 限目		確認テスト

## 第 2 節 確率

1 限目	P 3 7 ~ P 4 2	事象と確率
2 限目	P 4 3 ~ P 4 5	確率の基本性質
3 限目	P 4 6 ~ P 4 8	余事象の確率, 和事象の確率
4 限目	P 4 9 ~ P 5 1	独立な試行の確率
5 限目	P 5 2 ~ P 5 3	反復試行の確率
6 限目	P 5 4 ~ P 5 5	条件付き確率
7 限目	P 5 6 ~ P 5 7	確率の乗法定理
8 限目	P 5 8	補充問題
9 限目	P 5 9	章末問題 A
10 限目	P 6 0	章末問題 B
11 限目		確認テスト

# 第 1 章 場合の数と確率 練習問題 解答 (第 1 節)

## 練習 1

- (1)  $n(U) = 6$                       (2)  $n(\overline{B}) = 3$                       (3)  $n(A \cap B) = 2$   
 (4)  $n(\overline{A \cup B}) = 1$                       (5)  $n(A \cap \overline{B}) = 2$

## 練習 2

- (1)  $n(\overline{B}) = 15$                       (2)  $n(\overline{A \cup B}) = 3$                       (3)  $n(\overline{A} \cap \overline{B}) = 3$

## 練習 3

100以下の自然数全体の集合をUとし、Uの部分集合で、6の倍数全体の集合をA、4の倍数全体の集合をBとすると、

- (1)  $n(A) = 16$                       (2)  $n(\overline{A}) = 84$                       (3)  $n(A \cap B) = 8$   
 (4)  $n(A \cup B) = n(A) + n(B) - n(A \cap B) = 16 + 25 - 8 = 33$

## 練習 4

- (1) aにだけ賛成の人                      11人  
 (2) bにだけ賛成の人                      18人

	B	$\overline{B}$	合計
A	66	11	77
$\overline{A}$	18	5	23
合計	84	16	100

## 練習 5

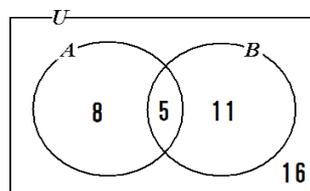
クラスの生徒全体の集合をU、そのうち自転車を利用する人の集合をA、バスを利用する人の集合をBとすると、 $n(U) = 40$ ,  $n(A) = 13$ ,  $n(B) = 16$ ,  $n(A \cap B) = 5$  このとき、  
 $n(A \cup B) = n(A) + n(B) - n(A \cap B) = 13 + 16 - 5 = 24$  より、

- (1) 自転車もバスも利用しない人は、

$$n(U) - n(A \cup B) = 40 - 24 = 16 \quad \text{よって、} 16 \text{ 人}$$

- (2) 自転車は利用するがバスは利用しない人は、

$$n(A) - n(A \cap B) = 13 - 5 = 8 \quad \text{よって、} 8 \text{ 人}$$



## 練習 6

ABC, ACB, BAC, BCA, CAB, CBA

## 練習 7 大中小の3個のさいころを投げるとき、

- (1) 目の和が7になるのは、

大のさいころの目は1~5のいずれかであるから、(大, 中, 小) で表すと、

(1, 5, 1), (1, 4, 2), (1, 3, 3), (1, 2, 4), (1, 1, 5)

(2, 4, 1), (2, 3, 2), (2, 2, 3), (2, 1, 4)

(3, 3, 1), (3, 2, 2), (3, 1, 3)

(4, 2, 1), (4, 1, 2)

(5, 1, 1)    よって、15通り

- (2) 目の積が6になるのは、

(6, 1, 1), (1, 6, 1), (1, 1, 6)

(1, 2, 3), (1, 3, 2), (2, 1, 3), (2, 3, 1), (3, 1, 2), (3, 2, 1)

よって、9通り

**練習 8** 残り 5 回中, 2 回表が出ればよいので,

(裏, 裏, 裏, 表, 表), (裏, 裏, 表, 裏, 表), (裏, 表, 裏, 裏, 表), (表, 裏, 裏, 裏, 表)

(裏, 裏, 表, 表), (裏, 表, 裏, 表), (表, 裏, 裏, 表)

(裏, 表, 表), (表, 裏, 表)

(表, 表) よって, 10 通り

**練習 9**

(1) 目の和が 7 は, (6, 1), (5, 2), (4, 3), (3, 4), (2, 5), (1, 6)

目の和が 8 は, (6, 2), (5, 3), (4, 4), (3, 5), (2, 6)

よって, 11 通り

(2) 目の和が 4 は, (3, 1), (2, 2), (1, 3)

目の和が 8 は, (6, 2), (5, 3), (4, 4), (3, 5), (2, 6)

目の和が 12 は, (6, 6)

よって, 9 通り

**練習 10**

(1) 2 個のさいころの目の出方は,  $6 \times 6 = 36$  通り

(2) 大のさいころの目が 3 以上, 小のさいころの目が偶数の出方は,  $4 \times 3 = 12$  通り

**練習 11**

(1) 大中小 3 個のさいころの目の出方は,  $6 \times 6 \times 6 = 216$  通り

(2) 積  $(a+b)(c+d)(x+y+z)$  の展開式の項の個数は,  $2 \times 2 \times 3 = 12$  個

**練習 12**

(1)  $16 = 2^4$  より, 16 の正の約数は,  $4 + 1 = 5$  個

(2)  $144 = 2^4 \cdot 3^2$  より, 144 の正の約数は,  $(4+1) \times (2+1) = 15$  個

**練習 13**

(1)  ${}_5P_2 = 5 \times 4 = 20$

(2)  ${}_8P_4 = 8 \times 7 \times 6 \times 5 = 1680$

(3)  ${}_3P_1 = 3$

(4)  ${}_6P_6 = 6 \times 5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1 = 720$

**練習 14**

(1) 11 人から 3 人を選んで並べる並べ方は,  ${}_{11}P_3 = 11 \times 10 \times 9 = 990$  通り

(2) 0 以外の異なる 7 個の数字から 4 個を並べて作る 4 桁の整数は,  ${}_7P_4 = 7 \times 6 \times 5 \times 4 = 840$  通り

**練習 15**

(1) 5 個の数字 1, 2, 3, 4, 5 を 1 列に並べる並べ方は,  $5! = 5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1 = 120$  通り

(2) 7 個の数字 A, B, C, D, E, F, G を 1 列に並べる並べ方は,

$7! = 7 \times 6 \times 5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1 = 5040$  通り

**練習 16**

6 人の候補選手の中から 4 人のリレー走者の選び方は,  ${}_6P_4 = 6 \times 5 \times 4 \times 3 = 360$  通り

**練習 17**

5 色の中から 4 色を選んで並べればよいので,  ${}_5P_4 = 5 \times 4 \times 3 \times 2 = 120$  通り

### 練習 18

母音 a, i, u, e, o と子音 k, s, t の 8 個の文字を 1 列に並べるとき、

- (1) 両端が母音である並べ方は、 ${}_5P_2 \times 6! = 5 \times 4 \times 6 \times 5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1 = 1\ 4\ 4\ 0\ 0$  通り  
(2) 母音 5 個が続いて並ぶ並べ方は、 $5! \times 4! = 2\ 8\ 8\ 0$  通り

### 練習 19

5 個の数字 1, 2, 3, 4, 5 のうちの異なる 3 個を並べて 3 桁の整数を作るとき、

- (1) 5 の倍数は、1 の位は必ず 5 なので、 ${}_4P_2 = 4 \times 3 = 1\ 2$  通り  
(2) 偶数は、1 の位が 2 または 4 なので、 $2 \times {}_4P_2 = 2 \times 4 \times 3 = 2\ 4$  通り  
(3) 奇数は、1 の位が 1, 3, 5 のいずれかなので、 $3 \times {}_4P_2 = 3 \times 4 \times 3 = 3\ 6$  通り

### 練習 20

- (1) 5 人が輪の形に並ぶ並び方は、 $(5-1)! = 4! = 4 \times 3 \times 2 \times 1 = 2\ 4$  通り  
(2) 色の異なる 6 個の玉を円形に並べて置く並べ方は、 $(6-1)! = 5! = 5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1 = 1\ 2\ 0$  通り

### 練習 21 大人 5 人と子ども 5 人が輪の形に並ぶとき、

大人と子どもが交互に並ぶような並び方は、まず、大人 5 人が輪の形に並び、子どもはある特定の 1 人の大人の右隣から順に大人の間に入ればよいので、

$$(5-1)! \times 5! = 4! \times 5! = 4 \times 3 \times 2 \times 1 \times 5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1 = 2\ 8\ 8\ 0 \text{ 通り}$$

### 練習 22 男子 4 人と女子 2 人が、6 人席の丸いテーブルの席に着席するとき、

女子が隣り合うような並び方は、まず、女子 2 人の並び順を考え、次は女子 2 人の組と男子 4 人が円形に並ぶ並び方を考えればよいので、

$$2 \times 4! = 2 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1 = 4\ 8 \text{ 通り}$$

### 練習 23 4 個の文字 a, b, c, d から重複を許して取り出した文字を並べるとき、

- (1) 2 個並べる場合、 $4^2 = 1\ 6$  通り  
(2) 3 個並べる場合、 $4^3 = 6\ 4$  通り

### 練習 24

$$(1) {}_7C_3 = \frac{7 \cdot 6 \cdot 5}{3 \cdot 2 \cdot 1} = 3\ 5 \quad (2) {}_4C_2 = \frac{4 \cdot 3}{2 \cdot 1} = 6 \quad (3) {}_8C_1 = 8 \quad (4) {}_5C_5 = 1$$

### 練習 25

$$(1) 8 \text{ 人から 2 人を選ぶ } {}_8C_2 = \frac{8 \cdot 7}{2 \cdot 1} = 2\ 8 \text{ 通り}$$
$$(2) 6 \text{ 色から 4 色を選ぶ } {}_6C_4 = \frac{6 \cdot 5 \cdot 4 \cdot 3}{4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1} = 1\ 5 \text{ 通り}$$

### 練習 26

$$(1) {}_5C_4 = {}_5C_1 = 5 \quad (2) {}_8C_6 = {}_8C_2 = \frac{8 \cdot 7}{2 \cdot 1} = 2\ 8 \quad (3) {}_{20}C_{18} = {}_{20}C_2 = \frac{20 \cdot 19}{2 \cdot 1} = 1\ 9\ 0$$

### 練習 27 正六角形について、

$$(1) 3 \text{ 個の頂点を結んでできる三角形の個数は } {}_6C_3 = \frac{6 \cdot 5 \cdot 4}{3 \cdot 2 \cdot 1} = 2\ 0 \text{ 個}$$

(2) 4個の頂点を結んでできる四角形の個数は  ${}_6C_4 = {}_6C_2 = \frac{6 \cdot 5}{2 \cdot 1} = 15$  個

(3) 2個の頂点を結んでできる線分の本数は  ${}_6C_2 = \frac{6 \cdot 5}{2 \cdot 1} = 15$  本

(4) 対角線の本数は  ${}_6C_2 - 6 = 15 - 6 = 9$  本

**練習 28**

$${}_7C_3 \times {}_6C_3 = \frac{7 \cdot 6 \cdot 5}{3 \cdot 2 \cdot 1} \times \frac{6 \cdot 5 \cdot 4}{3 \cdot 2 \cdot 1} = 35 \times 20 = 700 \text{ 通り}$$

**練習 29** 8人の分け方について、

(1) A, B, C, Dの4つの組に, 2人ずつ分ける

$${}_8C_2 \times {}_6C_2 \times {}_4C_2 = \frac{8 \cdot 7}{2 \cdot 1} \times \frac{6 \cdot 5}{2 \cdot 1} \times \frac{4 \cdot 3}{2 \cdot 1} = 28 \times 15 \times 6 = 2520 \text{ 通り}$$

(2) 2人ずつの4つの組に分ける

$$\frac{{}_8C_2 \times {}_6C_2 \times {}_4C_2}{4!} = \frac{2520}{24} = 105 \text{ 通り}$$

**練習 30**

$$\frac{6!}{2! \cdot 3!} = \frac{6 \cdot 5 \cdot 4}{2 \cdot 1} = 60 \text{ 個}$$

**練習 31**

(1) CからBまで行く  ${}_5C_2 = \frac{5 \cdot 4}{2 \cdot 1} = 10$  通り

(2) AからCを通過してBまで行く  ${}_3C_1 \times {}_5C_2 = 3 \times \frac{5 \cdot 4}{2 \cdot 1} = 30$  通り

(3) AからCを通らずにBまで行く  ${}_8C_3 - {}_3C_1 \times {}_5C_2 = \frac{8 \cdot 7 \cdot 6}{3 \cdot 2 \cdot 1} - 3 \times \frac{5 \cdot 4}{2 \cdot 1} = 26$  通り

**研究 練習 1**

4個の文字 a, b, c, d から重複を許して7個取る組合せの総数は, 同じ7個の玉と3つの仕切りを横一列に並べる並べ方の総数と同じであるから,



$${}_4H_7 = {}_{4+7-1}C_7 = {}_{10}C_7 = {}_{10}C_3 = \frac{10 \cdot 9 \cdot 8}{3 \cdot 2 \cdot 1} = 120 \text{ 通り}$$

**第 1 章 場合の数と確率 補充問題 解答 (第 1 節)**

1. 大中小3個のさいころを投げるとき、

(1) すべて異なる目が出る

$${}_6P_3 = 6 \times 5 \times 4 = 120 \text{ 通り}$$

(2) 目の積が奇数になる

すべて奇数の目が出ればよいので,  $3^3 = 27$  通り

(3) 目の積が偶数になる

全部の目の出方から目の積が奇数になる場合を除くと,  $6^3 - 3^3 = 216 - 27 = 189$  通り

(4) 目の積が20になる

3つの目の組合せが(1, 4, 5)の場合  $3! = 6$ 通り

3つの目の組合せが(2, 2, 5)の場合  ${}_3C_1 = 3$ 通り

よって、合わせると 9通り

2. 6個の数字0, 1, 2, 3, 4, 5のうちの異なる4個を並べて4桁の整数をつくる時、

(1) 4桁の整数

先頭桁の選び方は5通りなので、 $5 \times {}_5P_3 = 5 \times 5 \times 4 \times 3 = 300$ 通り

(2) 4桁の奇数

1の位が1, 3, 5のいずれかで、さらに、先頭桁の選び方は4通りなので、

$$3 \times 4 \times {}_4P_2 = 3 \times 4 \times 4 \times 3 = 144 \text{通り}$$

(3) 4桁の偶数

(1) から (2) を引くと、 $300 - 144 = 156$ 通り

**別解** 1の位が0の場合、 ${}_5P_3 = 5 \times 4 \times 3 = 60$ 通り

1の位が2または4の場合、先頭桁の選び方は5通りなので、

$$2 \times 4 \times {}_4P_2 = 2 \times 4 \times 4 \times 3 = 96 \text{通り}$$

よって、合わせると 156通り

3. 7人の男子と5人の女子から、3人の委員を選ぶとき、

(1) 男子が2人以上選ばれる

男子が2人の場合、 ${}_7C_2 \times {}_5C_1 = \frac{7 \cdot 6}{2 \cdot 1} \times 5 = 105$ 通り

男子が3人の場合、 ${}_7C_3 = \frac{7 \cdot 6 \cdot 5}{3 \cdot 2 \cdot 1} = 35$ 通り

よって、合わせると 140通り

(2) 少なくとも男子が1人選ばれる

全部の選び方から女子だけが選ばれる場合の数を引けばよいから、

$${}_{12}C_3 - {}_5C_3 = \frac{12 \cdot 11 \cdot 10}{3 \cdot 2 \cdot 1} - \frac{5 \cdot 4}{2 \cdot 1} = 220 - 10 = 210 \text{通り}$$

4. 8人が3つの組に分けると、

(1) 3人部屋A, Bと2人部屋Cの3部屋に分ける

$${}_8C_3 \times {}_5C_3 = \frac{8 \cdot 7 \cdot 6}{3 \cdot 2 \cdot 1} \times \frac{5 \cdot 4}{2 \cdot 1} = 56 \times 10 = 560 \text{通り}$$

(2) 3人, 3人, 2人の3つの組に分ける

$$\frac{{}_8C_3 \times {}_5C_3}{2!} = \frac{560}{2} = 280 \text{通り}$$

## 第1章 場合の数と確率 練習問題 解答 (第2節)

### 練習32

(1, 1), (1, 2), (1, 3), (1, 4), (1, 5), (1, 6)  
 (2, 1), (2, 2), (2, 3), (2, 4), (2, 5), (2, 6)  
 (3, 1), (3, 2), (3, 3), (3, 4), (3, 5), (3, 6)  
 (4, 1), (4, 2), (4, 3), (4, 4), (4, 5), (4, 6)  
 (5, 1), (5, 2), (5, 3), (5, 4), (5, 5), (5, 6)  
 (6, 1), (6, 2), (6, 3), (6, 4), (6, 5), (6, 6)

### 練習33 1個のさいころを投げるとき,

- (1) 奇数の目が出る確率は,  $\frac{3}{6} = \frac{1}{2}$   
 (2) 3以上の目が出る確率は,  $\frac{4}{6} = \frac{2}{3}$

### 練習34 赤玉2個と白玉3個の入った袋から, 玉を1個取り出すとき, 赤玉の出る確率は, $\frac{2}{5}$

### 練習35 3枚の硬貨を同時に投げるとき,

- (1) すべて表が出る確率は,  $\left(\frac{1}{2}\right)^3 = \frac{1}{8}$   
 (2) 1枚だけ裏が出る確率は,  ${}_3C_1 \times \left(\frac{1}{2}\right)^3 = \frac{3}{8}$

### 練習36 2個のさいころを同時に投げるとき,

- (1) 目の和が7になる確率

目の出方は, (1, 6), (2, 5), (3, 4), (4, 3), (5, 2), (6, 1) の6通りなので,

$$6 \times \left(\frac{1}{6}\right)^2 = \frac{1}{6}$$

- (2) 2個とも偶数の目が出る確率

目の出方は,  $3 \times 3 = 9$ 通りなので,

$$9 \times \left(\frac{1}{6}\right)^2 = \frac{1}{4}$$

**別解** 1個のさいころで偶数の目が出る確率は  $\frac{3}{6} = \frac{1}{2}$  であるから,  $\left(\frac{1}{2}\right)^2 = \frac{1}{4}$

### 練習37 A, Bの2人を含む4人が, くじ引きで順番を決めて横1列に並ぶとき,

- (1) Aが左端に並ぶ確率

全部の並び方  $4! = 24$ 通りのうち, Aが左端に並ぶのは  $3! = 6$ 通りあるから,

$$\frac{3!}{4!} = \frac{1}{4}$$

- (2) Bが左端, Aが右端に並ぶ確率

全部の並び方  $4! = 24$ 通りのうち, Bが左端, Aが右端に並ぶのは  $2! = 2$ 通りあるから,

$$\frac{2!}{4!} = \frac{1}{12}$$

**練習 3 8** くじが 10 本あり、そのうち 3 本が当たりくじである。

(1) 2 本を同時に引くとき、2 本とも当たる確率

$$\frac{{}_3C_2}{{}_{10}C_2} = \frac{3 \cdot 2}{\frac{10 \cdot 9}{2 \cdot 1}} = \frac{3}{45} = \frac{1}{15}$$

(2) 3 本を同時に引くとき、3 本ともはずれる確率

$$\frac{{}_7C_3}{{}_{10}C_3} = \frac{7 \cdot 6 \cdot 5}{\frac{10 \cdot 9 \cdot 8}{3 \cdot 2 \cdot 1}} = \frac{35}{120} = \frac{7}{24}$$

**練習 3 9** 大人 6 人、子ども 4 人の合計 10 人の中から抽選で 5 人を選ぶとき、

(1) 大人が 3 人、子どもが 2 人になる確率

$$\frac{{}_6C_3 \times {}_4C_2}{{}_{10}C_5} = \frac{\frac{6 \cdot 5 \cdot 4}{3 \cdot 2 \cdot 1} \times \frac{4 \cdot 3}{2 \cdot 1}}{\frac{10 \cdot 9 \cdot 8 \cdot 7 \cdot 6}{5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1}} = \frac{20 \times 6}{252} = \frac{10}{21}$$

(2) 子どもは 1 人だけの確率

$$\frac{{}_6C_4 \times {}_4C_1}{{}_{10}C_5} = \frac{\frac{6 \cdot 5}{2 \cdot 1} \times 4}{\frac{10 \cdot 9 \cdot 8 \cdot 7 \cdot 6}{5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1}} = \frac{15 \times 4}{252} = \frac{5}{21}$$

**練習 4 0**  $A = \{1, 3, 5, 7, 9\}$ ,  $B = \{7, 8, 9, 10\}$  より、

$$A \cap B = \{7, 9\}, \quad A \cup B = \{1, 3, 5, 7, 8, 9, 10\}$$

**練習 4 1** 「偶数の目が出る」と「3 の目が出る」は背反事象である。

**練習 4 2**

(1) 3 等または 4 等が当たる確率

$$\frac{10}{100} + \frac{20}{100} = \frac{3}{10}$$

(2) 2 等から 4 等までのいずれかが当たる確率

$$\frac{5}{100} + \frac{10}{100} + \frac{20}{100} = \frac{35}{100} = \frac{7}{20}$$

**練習 4 3** 赤玉 2 個、白玉 3 個、青玉 5 個の入った袋から、3 個の玉を同時に取り出すとき、

$$3 \text{ 個とも同じ色である確率は, } \frac{{}_3C_3}{{}_{10}C_3} + \frac{{}_5C_3}{{}_{10}C_3} = \frac{1}{120} + \frac{10}{120} = \frac{11}{120}$$

**練習 4 4** 1 から 200 までの 200 枚の番号札から 1 枚引くとき、

$$3 \text{ の倍数でない番号を引く確率は, } 1 - \frac{66}{200} = 1 - \frac{33}{100} = \frac{67}{100}$$

**練習 4 5** 赤玉 6 個と白玉 4 個の入った袋から 4 個の玉を同時に取り出すとき、

$$\text{少なくとも 1 個が白玉である確率は, } 1 - \frac{{}_6C_4}{{}_{10}C_4} = 1 - \frac{15}{210} = 1 - \frac{1}{14} = \frac{13}{14}$$

**練習46** 2個のさいころを同時に投げるとき、

$$\text{異なる目が出る確率は、} 1 - \frac{6}{36} = 1 - \frac{1}{6} = \frac{5}{6}$$

**練習47** 1から50までの50枚の番号札から1枚引くとき、

引いた札の番号が3の倍数である事象をA、4の倍数である事象をBとすると、

$$P(A) = \frac{16}{50}, \quad P(B) = \frac{12}{50}, \quad P(A \cap B) = \frac{4}{50} \quad \text{であるから、}$$

(1) 3の倍数または4の倍数である確率は、

$$P(A \cup B) = P(A) + P(B) - P(A \cap B) = \frac{16}{50} + \frac{12}{50} - \frac{4}{50} = \frac{24}{50} = \frac{12}{25}$$

(2) 3の倍数でも4の倍数でもない確率は、

$$1 - P(A \cup B) = 1 - \frac{12}{25} = \frac{13}{25}$$

**練習48** 2枚の硬貨と1個のさいころを投げるとき、

(1) 硬貨は2枚とも表が出て、さいころは偶数の目が出る確率は、

$$\frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \times \frac{3}{6} = \frac{1}{8}$$

(2) 硬貨は1枚だけ表が出て、さいころは2以下の目が出る確率は、

$$2 \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \times \frac{2}{6} = \frac{1}{6}$$

**練習49** 1枚の硬貨を3回続けて投げるとき、

(1) 3回とも表が出る確率は、

$$\left(\frac{1}{2}\right)^3 = \frac{1}{8}$$

(2) 少なくとも1回は裏が出る確率は、

$$1 - \left(\frac{1}{2}\right)^3 = \frac{7}{8}$$

**練習50**

(1) Aから赤玉、Bから白玉を取り出す確率は、

$$\frac{3}{5} \times \frac{4}{6} = \frac{3}{5} \times \frac{2}{3} = \frac{2}{5}$$

(2) A、Bから取り出す玉の色が異なる確率は、

$$\frac{3}{5} \times \frac{4}{6} + \frac{2}{5} \times \frac{2}{6} = \frac{3}{5} \times \frac{2}{3} + \frac{2}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{8}{15}$$

**練習51** 1個のさいころを4回投げるとき、

(1) 1の目がちょうど3回出る確率は、

$${}_4C_3 \left(\frac{1}{6}\right)^3 \left(\frac{5}{6}\right) = \frac{20}{1296} = \frac{5}{324}$$

(2) 5以上の目がちょうど2回出る確率は、

$${}_4C_2 \left(\frac{2}{6}\right)^2 \left(\frac{4}{6}\right)^2 = {}_4C_2 \left(\frac{1}{3}\right)^2 \left(\frac{2}{3}\right)^2 = \frac{24}{81} = \frac{8}{27}$$

**練習5 2** 赤玉2個と白玉4個の入った袋から玉を1個取り出し、色を見てからもとに戻す。

この試行を5回行うとき、赤玉が4回以上出る確率は、

$${}_5C_4\left(\frac{1}{3}\right)^4\left(\frac{2}{3}\right) + {}_5C_5\left(\frac{1}{3}\right)^5 = \frac{10}{243} + \frac{1}{243} = \frac{11}{243}$$

**練習5 3** 箱の中に、1から7までの青色の番号札7枚と、8から12までの白色の番号札5枚が入っている。青色の札である事象をA、偶数の札である事象をBとすると、

$$P(A) = \frac{7}{12}, \quad P(B) = \frac{6}{12}, \quad P(A \cap B) = \frac{3}{12} \quad \text{であるから、}$$

$$P_B(A) = \frac{P(A \cap B)}{P(B)} = \frac{3}{6} = \frac{1}{2}$$

**練習5 4** ある学校の全校生徒160人に、2つの提案a, bについて尋ねたとき、提案aに賛成である事象をA、提案bに賛成である事象をBとすると、

$$n(A) = 60, \quad n(B) = 70, \quad n(A \cap B) = 42 \quad \text{であるから、}$$

$$P_B(A) = \frac{n(A \cap B)}{n(B)} = \frac{42}{70} = \frac{3}{5}$$

**練習5 5** 当たりくじ4本を含む10本のくじを、A, Bの2人がこの順に1本ずつ引く。ただし、引いたくじはもとにもどさない。このとき、

(1) Aが当たり、Bがはずれる確率は、

$$\frac{4}{10} \times \frac{6}{9} = \frac{2}{5} \times \frac{2}{3} = \frac{4}{15}$$

(2) 2人ともはずれる確率は、

$$\frac{6}{10} \times \frac{5}{9} = \frac{3}{5} \times \frac{5}{9} = \frac{1}{3}$$

**練習5 6** 赤玉3個と白玉10個の入った袋から、玉を1個ずつ3個取り出す。ただし、取り出した玉はもとにもどさない。このとき、取り出した玉がすべて赤玉である確率は、

$$\frac{3}{13} \times \frac{2}{12} \times \frac{1}{11} = \frac{1}{286} \quad \leftarrow \frac{{}_3C_3}{{}_{13}C_3} \text{と考えるとよい。}$$

**練習5 7** 当たりくじ5本を含む12本のくじを、A, Bの2人がこの順に1本ずつ引く。ただし、玉はもとにもどさない。このとき、Bが当たる確率は、

Aが当たってBが当たる確率と、AがはずれてBが当たる確率の和であるから、

$$\frac{5}{12} \times \frac{4}{11} + \frac{7}{12} \times \frac{5}{11} = \frac{55}{132} = \frac{5}{12} \quad \leftarrow \text{Aが当たる確率と同じである。}$$

## 第1章 場合の数と確率 補充問題 解答 (第2節)

5. A, B, Cの3人がじゃんけんを1回するとき、

(1) Aだけが勝つ確率は、

$$\text{B, Cの2人がAに負ける手を出せばよいので、} \left(\frac{1}{3}\right)^2 = \frac{1}{9}$$

(2) 全員が違う手を出す確率は,

$$3! \times \left(\frac{1}{3}\right)^3 = \frac{2}{9}$$

(3) 誰も勝たない, すなわちあいこになる確率は,

$$\text{全員が違う手を出すか, 同じ手を出せばよいので, } 3! \times \left(\frac{1}{3}\right)^3 + 3 \times \left(\frac{1}{3}\right)^3 = \frac{3}{9} = \frac{1}{3}$$

6. 赤玉2個と白玉4個の入った袋から玉を1個取り出し, 色を見てからもとにもどす。この試行を6回行うとき, 6回目に3度目の赤玉が出る確率は, 5回目までに2回赤玉が出て, 6回目にまた赤玉が出る確率であるから,

$${}_5C_2 \left(\frac{1}{3}\right)^2 \left(\frac{2}{3}\right)^3 \times \frac{1}{3} = \frac{80}{729}$$

7. 当たりくじ3本を含む10本のくじを, A, B, Cの3人がこの順に1本ずつ引く。ただし, 玉はもとにもどさない。このとき,

(1) A, Bがはずれ, Cが当たる確率は,

$$\frac{7}{10} \times \frac{6}{9} \times \frac{3}{8} = \frac{7}{40}$$

(2) Cが当たる確率は,

$$\begin{array}{cccc} \bigcirc\bigcirc\bigcirc & \bigcirc\times\bigcirc & \times\bigcirc\bigcirc & \times\times\bigcirc \\ ABC & ABC & ABC & ABC \end{array}$$

$$\frac{3}{10} \times \frac{2}{9} \times \frac{1}{8} + \frac{3}{10} \times \frac{7}{9} \times \frac{2}{8} + \frac{7}{10} \times \frac{3}{9} \times \frac{2}{8} + \frac{7}{10} \times \frac{6}{9} \times \frac{3}{8} = \frac{3}{10} \quad \leftarrow A \text{が当たる確率と同じ}$$

## 第1章 場合の数と確率 章末問題 解答

1. 6個の数字0, 1, 2, 3, 4, 5のうちの異なる3個を並べて3桁の整数を作るとき, 小さい順に並べると,

$$\begin{array}{l} 1 \times \times \quad \dots \quad {}_5P_2 = 20 \text{ 個} \\ 201 \\ 203 \end{array}$$

2. 大人2人と子ども4人が, 円形の6人席のテーブルに着席するとき,

(1) 大人2人が向かい合う並び方は,

$$\begin{array}{l} 1 \text{ 人目の大人の右隣から子ども4人の並び順を考えると,} \\ 4! = 24 \text{ 通り} \end{array}$$

(2) 大人2人の間に子どもがちょうど1人入る並び方は,

$$\begin{array}{l} \text{大人2人の並び順を考え, 次に大人2人の間から始めて子ども4人の並び順を考えると,} \\ 2 \times 4! = 48 \text{ 通り} \end{array}$$

3.  ${}_4C_2 \times {}_3C_2 = 6 \times 3 = 18$  個

4.  ${}_nC_r = {}_{n-1}C_{r-1} + {}_{n-1}C_r$

$n$ 人の中から $r$ 人を選ぶ選び方の総数( ${}_nC_r$ )は, ある特定の1人を選んだ場合に残り $n-1$ 人の中から $r-1$ 人を選ぶ選び方の総数( ${}_{n-1}C_{r-1}$ )と, その1人を選ばなかった場合に残り $n-1$ 人の中から $r$

人を選ぶ選び方の総数  $({}_{n-1}C_r)$  の和である。

証明

$${}_n C_r = \frac{n!}{r! \cdot (n-r)!}$$

$$\begin{aligned} {}_{n-1}C_{r-1} + {}_{n-1}C_r &= \frac{(n-1)!}{(r-1)! \cdot (n-r)!} + \frac{(n-1)!}{r! \cdot (n-r-1)!} = \frac{(n-1)!}{(r-1)! \cdot (n-r-1)!} \left( \frac{1}{n-r} + \frac{1}{r} \right) \\ &= \frac{(n-1)!}{(r-1)! \cdot (n-r-1)!} \cdot \frac{r+(n-r)}{r(n-r)} = \frac{(n-1)!}{(r-1)! \cdot (n-r-1)!} \cdot \frac{n}{r(n-r)} = \frac{n!}{r! \cdot (n-r)!} \end{aligned}$$

よって、 ${}_n C_r = {}_{n-1}C_{r-1} + {}_{n-1}C_r$

5. 男子4人と女子3人がくじ引きで1列に並ぶとき、

(1) 男子と女子が交互に並ぶ確率は、

$$\text{両端は必ず男子であるから、} \frac{4! \times 3!}{7!} = \frac{3 \cdot 2 \cdot 1}{7 \cdot 6 \cdot 5} = \frac{1}{35}$$

(2) 両端のうち、少なくとも一方に女子が並ぶ確率は、

$$1 \text{ から両端が男子の確率を引けばよいから、} 1 - \frac{{}_4 P_2 \times 5!}{7!} = 1 - \frac{4 \cdot 3}{7 \cdot 6} = 1 - \frac{2}{7} = \frac{5}{7}$$

6. 1から9までの9枚の番号札から4枚選ぶとき、

(1) 全部が6以下である確率は、

$$\frac{{}_6 C_4}{{}_9 C_4} = \frac{6 \cdot 5 \cdot 4 \cdot 3}{9 \cdot 8 \cdot 7 \cdot 6} = \frac{5}{42}$$

(2) 最大の番号が7以上である確率は、

$$1 - \frac{{}_6 C_4}{{}_9 C_4} = 1 - \frac{5}{42} = \frac{37}{42}$$

7. 硬貨が裏である事象をA、赤玉が出る事象をBとすると、

$$P(A \cap B) = \frac{1}{2} \times \frac{2}{10} = \frac{1}{10}, \quad P(B) = \frac{1}{2} \times \frac{1}{10} + \frac{1}{2} \times \frac{2}{10} = \frac{3}{20} \quad \text{であるから、}$$

$$\text{求める条件付き確率は、} P_B(A) = \frac{P(A \cap B)}{P(B)} = \frac{2}{3}$$

8. AがBの品物を受け取る場合、

A B C D が受け取る品物の組合せは、

B A D C

B C D A

B D A C の3通りである。

AがC、Dの品物を受け取る場合も同様に考えられるので、分け方は  $3 \times 3 = 9$  通り

9.

(1) 6人がA、Bの2部屋に入る方法は、 $2^6 = 64$  通り

(2) 6人が2つの組に分かれる方法は、0000

5人と1人の場合  ${}_6 C_1 = 6$  通り

4人と2人の場合  ${}_6 C_2 = 15$  通り

3人ずつの場合  $\frac{{}_6 C_3}{2} = 10$  通り より、合わせて  $6 + 15 + 10 = 31$  通り

10. 0000から9999までの番号のうちで、

(1) 0101, 0033 のように、同じ数字を2個ずつ含むものは、

まず、10種類の数字の中から2個を選び、そのうちの小さい方の数字を4桁の中のどの2桁に置くかを決めればよいので、

$${}_{10}C_2 \times {}_4C_2 = 45 \times 6 = 270 \text{ 個}$$

(2) 1248のように、異なる数字が左から小さい順に並んでいるものは、

$${}_{10}C_4 = 210 \text{ 個}$$

11. 
$$\frac{2}{3} \times \frac{1}{2} \times \frac{3}{5} + \frac{1}{3} \times \frac{1}{2} \times \frac{2}{5} + \frac{2}{3} \times \frac{1}{2} \times \frac{2}{5} = \frac{6}{15} = \frac{2}{5}$$

12.

9回で点Pが最初の位置に戻るには、硬貨の表が3回、裏が6回出ればよいから、

$${}_9C_3 \left(\frac{1}{2}\right)^9 = \frac{9 \cdot 8 \cdot 7}{3 \cdot 2 \cdot 1} \cdot \frac{1}{512} = \frac{21}{128}$$

13.

(1) 1回目で優勝者が決まる確率は、

1回目のじゃんけんで、3人のうち誰が、何の手で勝つかを決めればよいので、

$$3 \times 3 \times \left(\frac{1}{3}\right)^3 = \frac{1}{3}$$

(2) 1回目終了後に2人が残っている確率は、

1回目のじゃんけんで、3人のうち誰が、何の手で負けるかを決めればよいので、

$$3 \times 3 \times \left(\frac{1}{3}\right)^3 = \frac{1}{3}$$

(3) ちょうど3回目に優勝者が決まる確率は、

3人のじゃんけんで、あいこになる確率は $\frac{1}{3}$ 、

2人のじゃんけんで、あいこになる確率は $\frac{1}{3}$ 、

2人のじゃんけんで、勝負がつく確率は $\frac{2}{3}$ であるから、

人数が、3人→3人→3人→1人となる場合、 $\left(\frac{1}{3}\right)^3 = \frac{1}{27}$

人数が、3人→3人→2人→1人となる場合、 $\left(\frac{1}{3}\right)^2 \cdot \frac{2}{3} = \frac{2}{27}$

人数が、3人→2人→2人→1人となる場合、 $\left(\frac{1}{3}\right)^2 \cdot \frac{2}{3} = \frac{2}{27}$

よって、合わせると  $\frac{1}{27} + \frac{2}{27} + \frac{2}{27} = \frac{5}{27}$